

お客様からの製品フィードバック

製品名：KAPATaq EXtra HotStart ReadyMix with Dye (KK3607)
 メーカー名：KAPA BIOSYSTEMS 社
 アプリケーション：大腸菌コロニーダイレクトPCR

下記のデータは、国内のお客様のご厚意により掲載させて頂きました。

方法

● サンプル：大腸菌コロニーをそれぞれ24個ずつピックアップした

● 検討試薬

- (1) KAPATaq EXtra HotStart ReadyMix with Dye
- (2) T社電気泳動用色素（青色/黄色）入りマスターミックス製品

● 反応組成（両製品とも共通）

2x Master mix	6.25 μ l
Primer A(10 μ M)	0.25 μ l
Primer B(10 μ M)	0.25 μ l
Water	5.75 μ l
テンプレート（コロニー）	
Total	12.5 μ l

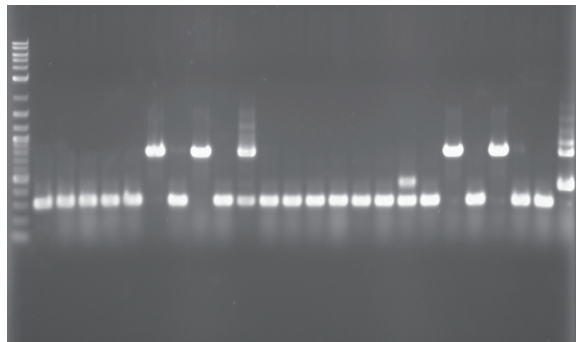
● 反応プログラム（両製品とも共通）

95 $^{\circ}$ C	5min	} 35 cycles
95 $^{\circ}$ C	30sec	
55 $^{\circ}$ C	30sec	
72 $^{\circ}$ C	2min	
72 $^{\circ}$ C	5min	
4 $^{\circ}$ C		

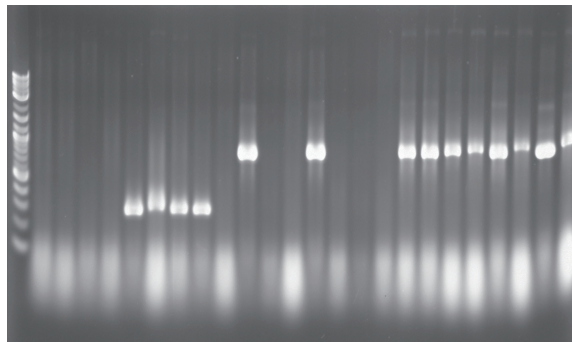
● サーマルサイクラー：Takara Thermal cycler Dice

結果

KAPATaq EXtra HotStart ReadyMix with Dye



T社電気泳動用色素（青色/黄色）入りマスターミックス製品



← 約800bp
（インサート有り）
← 約300bp
（インサート無し）

<電気泳動/染色>

DNAマーカー：NEB 2-Log DNA marker, 3 μ l/lane
 サンプル：5 μ l/lane
 アガロース1.2% (TAEバッファー)
 電気泳動条件：Mupid Ex, 135V 30min
 EtBr染色：20min
 脱染色 (dH₂O)：20min

<お客様のコメント>

KAPATaq EXtra HotStart ReadyMix with Dyeの方がスマアにならず綺麗な泳動パターンを得られた。
 またT社マスターミックスでは加えた菌体量によるかもしれないがスマアとなりインサートの有無が判定できないサンプルがあったが
 KAPATaq EXtra HotStart ReadyMix with Dyeではインサートの有り（800bp）、無し（300bp）をはっきり捉えられた。
 また12.5 μ l/tubeでも問題なく同様の結果が得られた。